

## ユニバーサルデザイン啓発パンフレットを活用した普及啓発事業について

### 1 パンフレットについて

#### (1) 概要

ユニバーサルデザインを子供から大人まで気軽に楽しく学べるように、間違い探し形式で作成した啓発パンフレット。まちを舞台として、どんな困りごとがあるか、またどんな配慮や手助けができるのかを、家族などと一緒に考えるきっかけとする。

#### (2) 対象

小学生※、およびその親などを中心とした区民

#### (3) 特徴

- ひとりでも多くの人に手にとってもらえるよう目につきやすいデザインの表紙、そして内容に興味を持ってもらえるようパンフレットの大部分は絵本を意識した親しみのあるイラストにしている。
- パンフレットの内容は、見開きいっぱい描かれた“まち”のなかで、「困っている人」をさがして何ができるかを考える。さらに開くと、答えとユニバーサルデザインに関する工夫等がわかりやすく掲載されている。
- 子どもでも理解できるよう、小学4年生以上で習う漢字にはルビを振っている。
- まちがいさがし形式としているため、親子で会話をしながらユニバーサルデザインについて知識を深められる。また、困りごとに気づき、できることを考える練習にもなるため、実際に困っている人と出会ったときに行動に移しやすくなる。

### 2 パンフレットの実績

#### (1) パンフレットのPR実績

日時	経過
平成30年5月	広報いたばし5月26日号掲載
平成30年6月	日本経済新聞（東京版）6月5日朝刊掲載
平成30年6月	読売新聞（東京版）6月22日朝刊掲載
平成30年8月	日本の印刷8月号掲載
平成30年12月	板橋区広報番組「魅力発信！いたばしナビ」12月号配信

※UD計画では「子どもがくらしやすいまちは、すべての人がくらしやすいまち」との考え方を示しており、小学生が理解できる内容とすることにより高齢者や障がいのある方なども活用することができる。

## (2) 配布実績

平成 29 年度： 2,000 部印刷

平成 30 年度： 10,000 部増刷

### 【主な配布先】

配付先	部数	合計
区内中学校	420	2,000
中央図書館、庁舎受付、窓口配布など	720	
区内企業・団体など	130	
ポッチャ大会などイベントで使用	100	
協議会委員など	100	
障がい者理解促進事業※で配付（区内小学校 5 校）	530	

## 3 今後の予定

- 障がい者理解促進事業での啓発（2 年間のべ 80 校・8,000 部）

引き続き「福祉体験学習」の教材としてパンフレットを活用する。そのことにより、小学生へのユニバーサルデザインの理解促進を図るとともに、家庭での振り返りなどを通して、ユニバーサルデザインの理解を深める。

- ナショナルトレーニングセンター整備に伴う啓発（2,000 部）

今年度実施されるナショナルトレーニングセンター周辺地区バリアフリー化等の整備に伴い、周辺町会にパンフレットを回覧する。そのことにより、地域住民に対する「心のバリアフリー」の推進と、ユニバーサルデザインの理解促進を図る。

---

※障がい者理解促進事業とは、区内学校を中心に、障がい当事者を講師とした講話や車いす体験などを通して「福祉体験学習」を行うもの。